

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
コミュニケーション・プロジェクト HC-1		選択	2	2.3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
前川 真奈美	B304	manami.maekawa	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;人間コミュニケーション学科のディプロマポリシーにある「豊かな人間観」と「多様性を尊重する姿勢」を育むため、多様な表現方法・コミュニケーション方法について、実社会の体験活動を実践することを通して、学び得た見識を社会実装化することに挑戦する。</p> <p>&lt;概要&gt;HC-1 では、実社会で効力を発揮するコミュニケーションに関する資格検定に挑み、コミュニケーション・セオリーを理解するとともに、ロールプレイやワークショップ、ディスカッション等の試験準備を通して、社会の場で通用するコミュニケーションの実践力・応用力を向上させる。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (検定受験)				
学習上の助言	日々の積み重ねが検定合格につながるため、授業時間外の自己学習にも力を入れることを推奨する。				
教科書	コミュニケーション検定 初級 公式ガイドブック&問題集 第2版/編著:サーティファイコミュニケーション能力認定委員会/2022年				
参考書	講義中に適宜紹介する。				
外部教材	講義中に適宜紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	コミュニケーションに関する基本的な考え方を習得できる。			HC (6)	
②	周囲の人々と「話す」「聞く」ことにより円滑なコミュニケーションをとることができる。			HC (6)	
③	状況に応じた適切、的確なコミュニケーションが実践できる。			HC (6)	
④	就職面接やインタビュー等の社会場面において正しく自己表現することができる。			HC (6)	
⑤	コミュニケーション学から派生する、一般知識、社会常識、マナー等を身に付ける。			HC (6)	
⑥					
授 業 計 画					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にあった攻略マップを考えよう。               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 試験内容の中で出来ていること・できていないことを自分で評価してみる。</li> <li>◇ 資格試験までの限られた時間でできていないことができるように、自分に合った攻略マップを作ってみる。</li> </ul> </li> <li>・コミュニケーションは一人でするものではない。みんなで一緒にロールプレイをしながら身につけよう。               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 販売員として店頭に立ってみる。</li> <li>◇ 新入社員になって出社してみる。</li> <li>◇ 営業で新規開拓してみる。</li> <li>◇ 電話番になってみる。</li> <li>◇ 受付カウンターに座ってみる。</li> <li>◇ 就活生になってみる。</li> </ul> </li> <li>・どこまでできたか「見える化」しよう。               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 模試にチャレンジして自分のスキルを数値化する。</li> </ul> </li> <li>・グループで得点アップの作戦を考えよう。               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ コミュニケーションの能力をきちんと得点に反映させる方法をグループで考える。</li> </ul> </li> <li>・授業内で模試を実施し、11月下旬頃に学内で実施する団体受験用の資格試験を受験する。</li> </ul>					
必要時間 (単位:時間) : 30					
学習課題・学習時間					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト学習を進めながら、ロールプレイを通して応用力を身につける。</li> <li>・毎日の取り組みを攻略マップに反映させて、定期的に教員と共有する。</li> </ul>					
必要時間 (単位:時間) : 60					

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	0	20	80	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	5	5	10
	思考・推論・創造する力	0	0	0	5	5	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	20	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	20	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	5	10	15
	問題を発見・解決する力	0	0	0	5	10	15
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	攻略マップを作成して提出する。 攻略マップの進捗状況进行评估する。 評価割合は総合評価の 20%にあたる。				攻略マップを定期的に共有する タイミングで、フィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
その他	①	✓	ロールプレイへの取り組みを評価する。評価割合は総合評価の 80% にあたる。				講義中に総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	該当なし						
実践的授業の内容	該当なし						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 最少開講人数は 4 名、定員は 12 名程度とする。</li> <li>• 教科書は学科から支給する。ただし、受験料は各個人が負担するものとする。</li> <li>• 資格試験の受検を含むが、その可否と成績評価（単位認定）は一切関係しない。</li> </ul>						